

# 保護者の「情報」授業体験会

平成27年2月14日(土)、電算教室にて「保護者の『情報』授業体験会」を開催しました。当日は32名の保護者が、飯田先生による『情報』の授業を約1時間受講しました。

## 【授業前半】 「情報」の授業ってなに？ / 授業体験

情報では、パソコンの基本的操作だけでなく情報工学の知識やプログラミングを学び、情報活用力や問題解決力(情報の収集・分析・発信)をつけることを目的とした授業を行っているとのことでした。今後、情報を大学入試科目に取り入れる動きもあるそうです。

また、「見えているものは本当にある?」という問いかけとともに、陰影や遠近法による錯視、音の速度を変えて別人の声に聞こえる例を体験し、参加者から思わず驚きの声が出る場面もありました。



「盲点」を説明する飯田先生

## 【授業後半】 最近の情報モラルの話題 / アクティブラーニングの実践例

最近の情報モラルについて、解説していただきました。

その中でもソーシャル・ネットワーキング・サービス(以下 SNS)使用状況について、事件に巻き込まれたり、返信に追われ「SNS 疲れ」を起こしたりする現状を挙げ、使い方のルール(位置情報、個人情報を載せない等)を守り、使用時間を制限する等けじめをつけ、一定の距離を置き、SNS と上手に付き合うようご指導いただきました。

また、アクティブラーニングによる映像制作実習の作品を見せていただき、生徒が各グループで自由に制作、発表し、相互に評価するまでの流れをご説明いただきました。



真剣に話を聞く保護者の皆様

### ○○○ 参加者のご感想より ○○○

- パソコンの授業というイメージを持って参加しましたが、全く違うものでした。こんな楽しい授業が受けられて、子どもたちがうらやましいです。
- とても面白かったし、子どもがどんな内容をどんなふうに学んでいるかわかって有意義な時間でした。いい先生に、面白く、濃い内容の授業をしていただけて幸いです。
- アクティブラーニングについて、生徒の潜在能力を引き出す有効なやり方であると思います。生徒の作品、面白いですね。

終了後のアンケートにはほとんどの方が、「満足」と答えていらっしゃいました。新しい教科だけでなく、次回もその時々新しい情報を聞きたい等のご意見が寄せられました。今後の参考にいたします。